

事務事業名 防災対策事業	記載日 平成 29 年 3 月 15 日
事業コード 120103 会計区分 9 款 1 項 1 目	担当部課等名 総務部危機対策室
継続実施期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年 <input type="checkbox"/> 継続 (年度 ~ 年度)	責任者職氏名 参事 山地 茂樹
実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託等 <input type="checkbox"/> 補助等	記載者職氏名 係長 高橋 昌宏
総合計画での位置付け 基本方針 安全・安心で住みよごちの良い暮らしの場づくり 基本目標 安心して安全に暮らせる住み良いまちづくり 施策目標 防災体制の充実	関連する計画、条例等 遠軽町地域防災計画 遠軽町水防計画 遠軽町国民保護計画

I 事務事業の概要【Plan】

<p>(1) 事務事業の沿革、目的及び内容等</p> <p>避難者用の毛布や非常用食糧を継続的に整備し、災害時における応急体制の充実を図るほか、隔年で実施している総合防災訓練や、平成27年度から実施している図上訓練を関係機関と連携して実施している。また、災害時の大規模停電の際、福祉避難所である保健福祉総合センターに最低限必要な電力を確保するため、太陽光発電システム及び蓄電池を導入した。</p> <p>(3) 期待される効果</p> <p>災害時における応急体制の充実が図られるほか、防災訓練を実施することで町民の防災意識の高揚、防災関係機関との連携強化が図られる。</p>	<p>(2) 対象 誰(何)を対象とするのか ※基準日:平成28年12月1日</p> <p>町民、防災関係機関</p> <p>(4) 事務事業を進める上での課題、問題点</p> <p>近年、全国的に災害が増加していることから、町民の防災意識は高揚しており、今後も町民が安心して安全に暮らせるよう、出前講座等で防災教育・啓発を推進し、さらに防災意識の高揚を図る必要がある。</p>
--	---

II 事務事業の実施結果【Do】

(1) 事務事業の予算の推移 (単位:千円)

	平成26年度 決算額	平成27年度		平成28年度 予算額	
		予算額	決算額		
予算(決算)額	17,225	41,642	39,431	11,850	
財源内訳	国庫支出金	6,003		100	
	道支出金				
	分担金・負担金				
	使用料・手数料				
	起債				
	その他特財	5,017	34,813	33,377	500
	一般財源	6,205	6,829	5,954	11,350

○平成27年度決算額の節別内訳

01 報酬	7	15 工事請負費	34,830
02 給料		16 原材料費	13
03 職員手当等		17 公有財産購入費	
04 共済費		18 備品購入費	305
07 賃金		19 負担金補助及び交付金	39
08 報償費		20 扶助費	
09 旅費	327	21 貸付金	
10 交際費		22 補償補填及び賠償金	
11 需用費	1,271	23 償還金利子及び割引料	
12 役務費	250	25 積立金	
13 委託料	2,389	27 公課費	
14 使用料及び賃借料		28 繰出金	

左の合計 **39,431**

(2) 成果

No.	指標区分	指標名	指標算式	単位	平成28年度 目標値	平成27年度			将来目標	
						目標値	実績値	達成率(%)	目標値	年度
①	活動指標	災害用毛布の備蓄	備蓄数	枚	1,000	600	610	100%	1,600	31
	成果指標	備蓄率	備蓄数/備蓄目標(1000人×2枚)	%	50	30	30	100%	80	31
②	活動指標	防災訓練の実施	訓練を実施した回数	回	3	3	2	67%	3	31
	成果指標	参加率	延べ参加数/全町民	%	5	5	7	100%	5	31

○活動指標(達成率平均値) **84%**
○成果指標評価値(達成率平均値) **100%** (α)

III 事務事業の評価【Check】

(1) 成果の自己検証

評価項目	評価結果	特記事項等
① 目的の妥当性 施策の目的は、町の政策体系に貢献しているか	4	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない 全国的に災害が増加しており、不測の事態に備え、町民の生命財産を守るため、事業の妥当性は高い。
② 有効性 期待された効果が得られているか	4	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない 災害用備蓄品の整備、総合防災訓練や図上訓練を関係機関と連携して実施することで災害時における応急体制が強化される。 また、福祉避難所である保健福祉総合センターに太陽光発電システム及び蓄電池を整備したことで、本町の防災機能の強化が図られた。
③ 効率性 効率的に進められているか	3	4. 非常に効率が良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない 災害用備蓄品については、継続的に整備し、災害時に備えている。また、総合防災訓練は幅広い年齢層、図上訓練には防災関係機関が参加し、概ね効率的に実施している。
④ 公平性 受益や負担が公平になっているか	3	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない 災害はいつどこで発生するか分からず、だれもが避難し、災害用備蓄品を使用する状況が考えられるため、公平性は確保されている。
⑤ 町民意見の反映 アンケート結果や町民意見を反映しているか	3	4. 大いに反映している 3. 概ね反映している 2. あまり反映していない 1. 反映していない 総合防災訓練、図上訓練を実施し、町の防災力の強化を図っているが、さらなる防災体制の強化のため、町民の意見を反映し、災害用備蓄品の充実や避難所の整備を図ることが重要である。

○事務事業評価値 (①~⑤の合計/満点) **17** /20 = **85%** (β)

(2)検証結果

事務事業名 防災対策事業

成果指標評価値 (α)	施策評価値 (β)	総合評価値 [(α)+(β)]/2	評価ランク(改善の目安)
100%	85%	93%	a: 90%以上(現状維持又は拡充) b: 70~89%(見直し改善又は推進策検討) c: 50~69%(縮小又は見直し改善) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) e: 30%未満(休止・廃止)
			a

IV 事務事業改善の方向性【Action】

(1)改善の方向性	(2)改善による成果とコストの変化																					
<p>①改善の方向性【自己評価】</p> <p>○自己評価する上での特記事項</p> <p>A 拡充</p> <p>↑ A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p> <p>今後も災害用備蓄品や避難所の整備を行い、さらに拡充し、防災対策の充実を図る必要がある。</p> <p>②改善する上での課題等</p> <p>防災意識の高揚を図るため、防災に関する情報を出前講座、広報、防災マップ等を活用し周知に努める必要がある。</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>現状維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○具体的な成果、コストの変化内容</p> <p>今後も災害用備蓄品を継続的な整備や避難所の整備を行い、災害時の応急体制の充実を図るほか、防災マップの見直しを実施する。</p>			コスト			削減	現状維持	増加	成 果	向上			○	現状維持				低下			
				コスト																		
		削減	現状維持	増加																		
成 果	向上			○																		
	現状維持																					
	低下																					

V 事務事業評価結果

<p>1 調査審査結果(1次審査)</p> <p>引き続き、防災意識の高揚を図るとともに、さらなる災害用備蓄品の整備や避難所の整備を行い、災害時の応急体制の充実を図る必要がある。</p>	
<p>2 遠軽行政評価検討委員会 改善の方向性の検討(2次審査)</p> <p>いつ起こるかわからない災害に備え、必要な災害用備蓄品を早急に整備すべき。</p>	<p>改善の方向性の検討結果</p> <p>A</p> <p>A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>
<p>3 遠軽行政改革推進本部 改善の方向性の決定</p> <p>引き続き防災意識の啓発に努めるとともに、必要な災害用備蓄品の整備や避難所の整備をさらに進めること。</p>	<p>改善の方向性の最終決定</p> <p>B</p> <p>A:拡充 B:推進策検討 C:現状維持 D:見直し改善 E:縮小 F:休止・廃止</p>

VI 町民アンケート、その他意見に対する見解

事務事業No.	2	事務事業名	防災対策事業
---------	---	-------	--------

事項	報告書(資料編)		意見の内容	意見に対する町の見解、改善方法など	
	掲載頁	No.			
町民意見に対する見解	見満足や不満の理由、その他意	12	18	防災対策として家庭での常備品を具体的に広報で示してほしいです。	家庭での備蓄品に限らず町広報等を活用し、防災に関する情報発信について努めます。
		13	76	実際に災害が発生した場合に備えて、訓練を実施しているが、周知がなされていない。	町の総合防災訓練は、平成23年度から隔年で実施しており、自治会の協力を得て住民による避難訓練のほか、国、道、各種団体等の防災関係機関と連携し、実働訓練を実施しており、広報等で周知をしていますが、さらに町ホームページ、自治会回覧、公共施設等への掲示等様々な形で周知を図ります。
	自由意見				